

国際トータルファッション専門学校

学校自己評価報告書・学校関係者評価

学校評価

実施の目的

学生がより良い教育活動等を享受できるよう学校運営の改善と発展を目指し、教育水準の向上と保証を図ることを目的とする。また自己評価を踏まえ、適切に説明責任を果たしアパレル業界関係者、卒業生の理解と参画を得て学校づくりを進め、第三者からの評価を受けることで学校運営の質を高めることを目的とする。

評価の実施

1. 2019年度 実施状況

自己評価 2019年3月12日

学校関係者評価 2019年3月20日

2. 評価者

自己評価者 国際トータルファッション専門学校 校長・教職員

学校関係者評価委員

1. 新潟県ニット工業組合 理事長 高橋 雅文 様
2. 株式会社サンクミル 代表取締役社長 関川 博史 様
4. 保護者代表 井上 昌紀 様
5. 卒業生代表 大倉 敦志 様

評価の内容

学校評価のガイドラインに沿って、目標が達成されていることを以下の10項目について確認した。

2019年度 学校関係者評価委員会議事録

開催日時／2019年3月20日（水）

場所／国際トータルファッション専門学校 307教室 13:30～14:30

参加者

新潟県ニット工業組合 理事長 高橋 雅文 様

株式会社サンクミル 代表取締役社長 関川 博史 様

保護者代表 井上 昌紀 様

卒業生代表 大倉 敦志 様

学校長 土田 一郎 教務部長 渡邊 津多子 就職部長 松田 大

議題

／学校自己評価と評価委員会からの評価

- 1.土田学校長より開会の挨拶と自己評価について説明
- 2.関係者評価委員会のみでの会議により学校評価を頂く。
3. 関係者評価委員会評価後に学校への意見を頂いた。

評価委員会よりの意見

高橋様「就職しての離職などが問題で、技術はもちろんですが、どうねばり強い学生を教育していくかが課題です。現場では自ら考え決断できる人間が欲しい」

関川様「同意見。現場で技術は教えられるが、探求心を持ち長期的に活躍できる技術者を育てていきたい」

関川様「デザイン科の学生の授業などで五泉ニットの産業などを知ってもらうために授業や工場での現場研修など産学連携」

大倉「卒業後に働くイメージを持ち地元のニット産業を理解し働いてもらえると良い」

高橋様「現場ではモノづくりをコツコツとできる人材が欲しい」

井上様「地元の企業様と連携した授業をしていただけるのは実践的な授業でとても良い」

などの意見が提案され今後学校と企業との連携などが検討事項となった。

所見

カリキュラムや教育実績については特に問題なし。人間性の教育面での課題が企業・学校間で同じ問題を抱えている。今後は企業訪問や就職した企業のニーズを把握し連携を深め社会人としてのマナー、人間性教育を構築していく事が課題である。評価委員会の意見を今後の学校運営に活かす。

評価項目一覧

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化され、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- デザインコンペ、大会での入選数、入賞数の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 学校の教育目標

【教育方針】

ファッション・ビジネス分野における「創造力」と「実践的技術」を養成します。

豊かな人間性を持ち国際感覚を備えた社会人を養成します。

人間愛に富み情熱をもって行動する人間を養成します。

【教育目標】

「ファッション・ビジネス分野における知識と技術の修得」「企業人としての基本的素養」

「広い視野と人間性」の3要素を併せ持つ人材を養成します。

2. 本年度に定めた重点的に取り込むことが必要な目標や計画

①世界的デザイナーの育成

世界的なコンテスト入選を目指す

②地元企業との産学連携

行政と連携を取りアパレル業界の発展に一役を担う

地元企業と連携を取り企画・デザイン・マーケティングを行い共同開発した商品を行う

③グローバル人材の育成

海外研修などファッションの本場を体験・体感させることで、国境を超えた様々な状況に柔軟に対応できる人材の育成

平成 29 年度 学校関係者 学校評価報告書

1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	4	4
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 教育の特色として以下の点を挙げ検証した
 職業力を高めるための、企業等と連携しインターンシップ等や企画運営型授業を行っている。
 インターンシップ先 東京デザイナー・パタンナーアシスタント業務、県内、東京スタイリスト事務所。県内縫製・パターン業務、百貨店・専門店での販売インターンなどインターンシップを実施。
 人間力育成のための地域ボランティアや実践行動学という人間性教育授業を取り入れている。
 国際的な視野を養うため、海外研修を必修化している。
 イタリアミラノコースでは、海外教育交流提携校であるミラノの「インスティテュート・カルロ・セコリ校」でのファッションデザイン教育研修や「グッチ」本社での研修の実施予定。
 ロスコースでは海外バイイング体験やBCBGなどのコレクションブランドでの研修などを2月に実施予定
- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生の手引き」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、保護者には保護者会にて周知を図り、欠席者に対しては資料を送付し周知を図っている

(3) 課題と改善策

特になし。

2. 学校運営

(1) 自己採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 運営方針は部門長によって作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内においては職員会議を定期的に行い、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

3. 教育活動

(1) 自己採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4	4
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	4
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、教務部長、学科担当を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等や企業連携した授業を全学科で行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発については法人全体でマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。

(3) 課題と改善策

- 各学科の教育目標等は業界のニーズを反映すべく改善を重ねているが、組織的かつ継続的に業界のニーズを取り込む仕組みの構築を毎年行っている。

4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
就職率の向上が図られているか	4	4
資格取得率の向上が図られているか	4	4
退学率の低減が図られているか	4	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3	3

(2) 学校関係者評価総括

- 就職部長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
結果 4月～翌年2月で就職率 100%を達成している。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 専門分野の資格については可能なものについてはカリキュラムの課程に取り入れ、取得率の向上を図っている。また、その他の資格についても受験直前の集中講義等の対策授業を実施することで、取得率の向上を図っている。
- 健康上の理由や精神的な理由による欠席等、学生の状況については朝礼時に日々の変化について報告や週1回の職員会議で担任からの報告により把握、共有される。また、学科主任による学科運営に併せ担任を設置しており、学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施し、退学率の低減に努めている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では毎年、実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。

(3) 課題と改善策

- 卒業後のキャリア形成への効果の把握と学校の教育活動の改善への活用については、組織的かつ継続的に行われるような仕組みづくりが必要である。卒業生の学校評価への参画等、校友会との連携の強化を中心に体制を構築する。

5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
学生の生活環境への支援は行われているか	3	3
保護者と適切に連携しているか	4	4
卒業生への支援体制はあるか	3	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 進路・就職相談について、主に担任が窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、就職部長を設置しており、進路・就職相談のみならず、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度を整備し、学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 課外活動については学校公認のサークル活動が行われ活動費の補助等の支援を行っている。
- 年2回（9月・3月）に担任との3者面談を実施している。就職指導への取り組みや進路面談での学生の進路について保護者との連携を図っている。
- 卒業生に対しては校友会を通じOB講演会など在校生へ向け講演などを行っている
- 全ての学科にて社会人受け入れができニーズに対応している。

(3) 課題と改善策

特になし

6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する体制は整備されているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 学内に販売実習施設やディスプレイルーム・コーディネートルーム・縫製実習室などを完備している。
- 法人が所有する研修施設において、新入生オリエンテーション、就職研修を宿泊研修として実施している。
- 当校では教育目標の達成のために海外研修を必修科目としており海外研修ともに受入先と独自の商品バイイング実習や海外有名ブランド見学など連携し研修が進められるよう教育体制が整備されている。
- 防災について学生個人での防災セット購入し施設全体での避難訓練を行っている。

(3) 課題と改善策

特になし。

7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金は妥当なものとなっているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、ほぼ毎週1回の頻度でオープンキャンパスと学校説明会を開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、県内高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。

(3) 課題と改善策

特になし。

8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている

(3) 課題と改善策

- 現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

(4) 特記事項

- 学校法人として収支計画を立てているため、情報提供も法人単位としている

9. 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
自己評価結果を公開しているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。また学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開を行う。

(3) 課題と改善策

特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	自己評価	関係者評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4	4

(2) 学校関係者評価総括

- 地域の祭りのための法被や衣裳の制作。地方アイドル衣装製作、手術をする子供を励ますためのキワニスドール制作、養護学校体育祭衣装制作などを依頼に応じ実施。
- 地域活スポーツイベントの見学を学校行事として実施している。
- 中学校よりの職業理解のための体験授業、学校見学などを年間通じ受け入れ行っている。

(3) 課題と改善策

特になし。